

別紙:令和2年知事表彰対象者功績一覧

◆団体表彰(16件)

表彰対象者		功績名/功績内容
新型コロナウイルス感染症対策関連業務	1	<p>新型コロナウイルス感染症対策本部事務局</p> <p>クラスター対策条例、全県ドライブスルー検体採取、クラスター対策監派遣など全国をリードした対策の構築</p> <p>県内で感染者が確認されていない早い段階から、医療機関等と調整・連携し、対応病床を12床から313床(うち重症47)へと増やし、検査能力も1日120検体から4800検体まで引き上げ、軽症者等に係る宿泊療養体制の確保、さらには11月に発熱外来体制の強化をし県内医療機関の9割で受診が可能となるなど、全国トップクラスの医療・検査体制の確保に尽力している。さらには「クラスター対策条例」の施行、全国初の全県ドライブスルー検体採取、クラスター対策監の派遣など、県内の感染拡大を全国最小限に抑え、県民の安心と健康を守ることを常に念頭にいた先手先手の感染症対策に懸命に取り組んでいる。</p>
	2	<p>倉吉保健所 米子保健所</p> <p>現場最前線「保健所」の献身的な対応により「早期検査・早期入院・早期治療」の確立</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応の最前線で各種相談への24時間対応や検体採取調整、さらに患者が確認された際は患者搬送や入院調整、積極的疫学調査など多岐にわたる業務を迅速的確に行うなど、経験のない各種業務を献身的に行い、感染拡大防止に貢献している。</p>
	3	<p>衛生環境研究所</p> <p>鳥取県独自の幅広い検査対象へのPCR検査に対する迅速かつ確実な対応</p> <p>PCR検査件数が急増する中、土日祝日昼夜を問わず保健所等からの検査依頼に速やかに対応する体制を構築し、正確な検査結果を提供し続けており、「早期検査・早期入院・早期治療」を堅持し感染拡大の抑制や県民の生命及び健康の保護を図る本県のコロナ対策に大きく寄与している。</p>
	4	<p>県立病院新型コロナウイルス感染症対策チーム(中央病院・厚生病院)</p> <p>全国有数の対応病床の確保「県立病院」の職員一丸となった感染症対策</p> <p>県内で感染者が確認されていない時期から流行のフェーズに応じた院内での検査・診療体制の検討を始め、マニュアルを準備していたことが「早期検査・早期入院・早期治療」につながり、患者受入れの際は、職員が一丸となり院内感染に細心の注意を払いながら、医療の最前線で新型コロナウイルス感染症の治療にあたっている。また、福祉施設等へ出かけて研修を実施し地域での感染拡大防止に努めるなど、感染症指定医療機関として役割を果たしている。</p>
	5	<p>新時代・SDGs推進課 新しい県民生活推進室</p> <p>認証・協賛制度や「安心観光・飲食エリア」創出など「新しい生活様式」定着に向けた取組</p> <p>鳥取型「新しい生活様式」による県版ガイドラインを16業種(12/1現在)作成・周知し、利用者が安心して利用できる店舗をわかりやすく表示する「協賛店」には約3500店舗が届出し、県が現地確認・審査をする「認証事業所」は53店舗(12/22時点)となり、さらには、関係団体・市町村と連携し、利用者に安心して観光や飲食を満喫してもらう「安心観光・飲食エリア」を創出するなど、店舗の感染対策の底上げをしながら感染対策と経済の両立につながる取組に尽力している。</p>
	6	<p>観光戦略課・商工労働部・市場開拓局・中部総合事務所・西部総合事務所</p> <p>県内中小企業を応援する「#WeLove鳥取キャンペーン」や食のみやこ鳥取県緊急支援などの取組</p> <p>コロナ禍において「#WeLove鳥取キャンペーン」を展開するなど観光需要喚起を図り、また、経営上の影響を受けた幅広い事業者を支援するため、全国に先駆けた2千億円規模での無利子・保証料なしの空前的融資制度や頑張ろう「食のみやこ鳥取県」緊急支援事業などの事業者の利用しやすい新たな支援策を創出すると共に、県・国経済対策予算の周知・早期給付に向けワンストップセンターを各圏域に開設し、各種専門家と連携しながら、事業者から寄せられる相談にきめ細やかに対応するなど、雇用維持や事業継続、そして需要喚起に向けて様々な取組に尽力している。</p>
	7	<p>人事企画課</p> <p>「鳥取型オフィスシステム」による新しい生活様式の推進</p> <p>段ボールで机の間に間仕切りをするなどの「鳥取型オフィスシステム」を導入し、低コストで職員の新型コロナウイルス感染リスク軽減を達成した。これは、職員の感染防止に向けた行動の意識づけにもなるとともに、インターネット等のメディアでも話題となり、日本中の感染防止の意識向上に寄与することとなった。</p>
	8	<p>統計課</p> <p>非接触型調査の推進による「国勢調査」の実施</p> <p>コロナ禍においても「家計調査」等の重要統計調査を継続実施することが求められており、全世界を対象とした5年に1回の「国勢調査」では従来の調査員による直接調査からインターネットや郵送による回答を主体に置いた非接触型に切り替え、回答方法の一層の周知を図り、非接触型の回答が82.8%となるなど、関係者や関係機関と連携をし、様々な懸念に柔軟に対応しながら統計調査を継続し、正確な調査の実施に成果を上げている。</p>
その他一般業務	1	<p>畜産課 肉用牛振興・遺伝資源管理担当</p> <p>全国初の和牛保護振興条例の制定による遺伝資源保護の取組</p> <p>鳥取県の優秀な種雄牛の遺伝資源を保護するため、県有種雄牛の精液について、県に所有権を留保するなどの全国でも例のない効果的な契約方法を取り入れた配布を4月にスタートさせた。さらに、全国で初めて県有種雄牛の遺伝資源を知的財産と位置付け、このような契約方法による保護や和牛産業の振興を図るための条例を10月に制定した。これらの取組により、県有種雄牛の遺伝資源を保護する体制が構築され、県内の和牛産業のさらなる発展が期待されている。</p>
	2	<p>子育て・人財局</p> <p>令和2年度先進政策バンク人口減少対策部門第1位を獲得！全国の一歩先行く新時代の子育て支援策の実現</p> <p>全国に先がけた保育料の無償化に続き、令和2年4月から不妊治療費助成の拡充や産後ケア利用の無償化、県内高校生への通学費助成など、出会い・結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない子育て支援策を実現した。このことが全国の一歩先行く先進的な施策であると評価され、全国知事会が実施する令和2年度先進政策バンクにおいて、人口減少対策部門の第1位を獲得した。</p>
	3	<p>企業局経営企画課 民間活力導入推進室</p> <p>全国初の水力発電施設におけるPFI(コンセッション)導入を実現</p> <p>鳥取県営水力発電所再整備・運営に本格的な水力発電施設としては全国初となるコンセッション方式を導入し、9月に春米発電所の民間運営がスタートした。今後、小鹿第一・第二発電所、日野川第一発電所も順次移行していく予定としており、民間事業者の経営資源やノウハウを活用することで収入増が見込まれるとともに再生可能エネルギーの長期安定供給が期待されている。</p>
	4	<p>埋蔵文化財センター</p> <p>全国初となる急カーブが連なる「つづら折り」の古代山陰道など相次ぐ重要発見</p> <p>鳥取市青谷町の丘陵地帯の古代山陰道の発掘調査で、全国初となる急カーブが連なる「つづら折り」の古代官道を確認し、また、鹿野町では、戦国時代後期に因伯の境目にあつて重要な戦略拠点となった狗戸那(くしな)城跡の巧妙な縄張り構造を明らかにしたことは、西いなばが弥生時代以降の古代や中世においても重要な位置を占めていたことを示しており、専門家等からの関心も非常に高く、地元からは西いなばの新たな観光資源として期待されている。</p>
	5	<p>西部総合事務所生活環境局生活安全課・建築住宅課</p> <p>35年ぶりのリニューアル！安心安全、快適な大山登山のための環境整備</p> <p>登山者の利便性と希少な野鳥や植物の保全の両立を図るため多くの関係団体と調整を要し、変動の激しい自然条件等のため施工スケジュールが頻繁に変更となるなど困難を極めた工事であった大山頂上避難小屋、6合目避難小屋及び頂上付近木道の全面改修が完了し、令和2年11月6日から供用を開始し、登山者が今まで以上に安心安全かつ快適に大山を満喫することが期待される。</p>

○カイゼン関係(3件)※カイゼン発表会(12月18日開催)上位受賞所属

表彰対象者	功績名/功績内容
【金賞】 皆成学園	管理棟等の整理・整頓で部屋の有効活用～環境改善は業務改善につながる～ 物置状態となっていた管理棟等の5S(整理・整頓・清潔・清掃・習慣化)に本気で取り組み、入所児童が安全・清潔・整理された空間で幅広い活動を行うことが可能となり、部屋が本来の機能を取り戻して有効活用できるようになっただけでなく、業務の幅や質の向上につなげることができた。さらには物品重複購入の防止など業務改善にもつながった。
【銀賞】 立地戦略課	状況報告収集業務のペーパーレス化によるカイゼン～現状・目標・効果等を意識してカイゼン～ 補助金交付先企業から提出される状況報告を電子データに様式を変更し、入力・集計作業時間を大幅に削減し、効果分析などに時間をさけるようになり時間の有効活用につながった。カイゼンにあたっては、研修派遣により学んだダイキン工業の改善手法を取り入れ、現状把握・目標設定・要因分析・効果確認・効果継続などのプロセスを意識しながら取り組んだ。
【銅賞】 西部総合事務所農林局西部農業改良普及所大山普及支所	感染後の迅速対応を可能にするデータベースの構築～新型コロナウイルス対策・行動歴の共有～ 農業者と接する機会が多い職場であるため、万が一職員に感染者が出た場合の地域農業への影響を考え、職員の行動歴や接触者が一目でわかるように行事予定表データベースを改修した。予定や実績の記入方法もルール化することで、仮に職員が新型コロナウイルスに感染した場合も直近2週間の行動歴と接触者を迅速に把握・報告ができるよう備えた。また、職場全体の行動予定が把握しやすくなり、職場内の業務連携の充実にもつながった。

◆個人表彰(1件)

表彰対象者	功績名/功績内容
医療体制が逼迫している地域で献身的に看護業務に従事した職員	新型コロナウイルス感染拡大で医療体制が逼迫している地域への医療支援 医療が逼迫し危機的な状況となった他自治体等から派遣要請を受けて、6名の看護師が2週間の長きにわたり昼夜を問わず看護業務や現地医療スタッフの支援に献身的に従事した。 ①大阪コロナ重症センター 12月に医療体制が逼迫する大阪府に派遣され、重症患者を臨時に受け入れる大阪コロナ重症センターに赴任し、重症患者(人工呼吸器装着者)の看護業務に献身的に従事した。 ②旭川市内の宿泊療養施設 12月に医療体制が逼迫する北海道に派遣され、旭川市内の宿泊療養施設において療養患者の健康管理や、看護業務に献身的に従事した。 ③沖縄県内の病院施設 8月に全国に先駆け、沖縄県内の新型コロナウイルス陽性患者も入院する病院施設に赴任し、食事介助や気管内吸引、人工呼吸器使用など医療依存度の高い患者への看護業務や現地医療スタッフの支援に昼夜を問わず献身的に従事した。